

## 審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和元年8月28日（水曜日）10時30分～12時00分
開催場所	立川市役所本庁舎2階210会議室
次第	1. 立川市第2次環境基本計画の中間見直しについて ①立川市環境に関するアンケート クロス集計結果 ②アクションプランの見直し 2. 環境ブック特集について
配布資料	（事前配布） 資料1 立川市環境に関するアンケート クロス集計結果 資料2 環境基本計画 アクションプランの見直し案 （当日配布） 資料3 環境ブック特集について
出席者	〔委員〕 会長 原 剛、和田 信行、八木 和夫、齋藤 孚彦、村田 佳壽子、 山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、宗野 喜志、吉岡 正司、 田中 良明(敬称略) 〔事務局〕 小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、 八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、 桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	1. 立川市第2次環境基本計画中間見直しについて ・年齢別のクロス集計によるアンケート結果について意見をいただいた。 ・環境対策課所管のアクションプランについて、見直し案を提示し意見をいただいた。アンケート結果を活かして、アクションプランの修正を進めていくように要望があった。 2. 環境ブック特集について ・特集のテーマの事務局案について意見をいただき、次回の環境審議会で、事務局が選定したテーマの記事概要を示すこととなった。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

## 第 11 期 第 6 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和元年 8 月 28 日（水曜日） 午前 10 時 30 分～12 時 00 分

開催場所 立川市役所本庁舎 210 会議室

出席者〔委員〕会長 原 剛、和田 信行、八木 和夫、齋藤 孚彦、村田 佳壽子、  
山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、宗野 喜志、吉岡 正司、  
田中 良明（敬称略）

〔事務局〕小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、  
八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、  
桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

### 1. 立川市第 2 次環境基本計画の中間見直しについて

①事務局より立川市環境に関するアンケートの年齢別のクロス集計結果について説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

#### ○委員意見

- ・環境という言葉について定義づけが必要。人によって、環境のとらえ方は異なる。環境は、自然環境、人間環境、文化環境の 3 つから成り立ち、3 つがそろって、自分のまわりの環境が良いということになる。
- ・アンケート結果から立川市が環境に対して、取り組んでいることがわかる。住みよい町ランキングで吉祥寺が常に上位になる。立川の住みよさランキングがある調査で、前回よりもかなり下がっていた。自然環境、利便性は良いと思うが、何か理由はあるのか？  
⇒ランキングが落ちた理由はわからない。吉祥寺のネームバリューは全国的に高い。町のブランド力アップが必要。（事務局）
- ・他の調査結果では、立川は上位になっているものもある。
- ・調査会社で、回答内容の裏付けをとっているわけではなく、内容によって順位は変わってくる。
- ・松江、金沢、仙台が常に上位になる。いずれも文化と歴史、水と緑のあるまちであり、環境が良いと感じられる都市である。立川も基地の町などのイメージからだいぶ良くなっている。
- ・他の町で、昔のイメージから良くなったところがある。参考にして見習う必要がある。
- ・昭和記念公園について、立川にあることをもっとアピールすべき。競輪の広告はギャンブルのイメージが強くなる。立川の名称が良いイメージと結びつくようにすべきである。例えばドラマのロケ地としてアピールする。

- ・花火大会、マラソン大会などの名称に立川を入れてアピールしている。競輪はひとつのスポーツ文化としてとらえてもらいたい。競輪の収益は立川のまちづくりに貢献してきた。
- ・過去にとらわれることなく未来志向で、立川のアイデンティティを考えよう。昭和記念公園を借景とした高齢者向けの施設が多く建設されている。事業者は環境の良さについてよくわかっている。
- ・立川のアピールを積極的に行う必要がある。

②事務局より、環境基本計画の環境対策課所管のアクションプランの見直し案について説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

#### ○委員意見

- ・アクションプランで周知・啓発を行うという場合は、誰に対する周知・啓発かをはっきりさせる必要がある。
- ・公用車に天然ガス車は導入されているのか？  
⇒事業者のエコカー導入は進んでいる。市役所では低公害車の導入は完了。天然ガス車は環境対策課に1台ある。(事務局)
- ・ヨーロッパでは、ガソリン車は将来使用できなくなる。ガソリン車を低公害車と言っている場合ではない。ガソリン車以外の自動車を立川市でもっと導入すべきである。
- ・施策を進めるには、事業者から先に行う必要がある。
- ・現在のところ、電気自動車なら良いがガソリン車なら悪いというわけではない。
- ・再生可能エネルギーの導入促進に関する施策のトーンが下がっているので、もう少し検討してほしい。アンケート結果で「環境を保全する活動を行うために、必要と思う支援は何ですか」という問いに対して、補助金等の経済的な支援制度という回答が若年層に多い。若年層なのか低所得者層なのか対象を精査する必要はあるが、自発的に環境対策ができるような施策も必要である。環境に対する施策と低所得者対策とを結びつけることを検討してはどうか。  
⇒経済的な支援が必要というアンケート結果からも、補助制度の検討を行う必要はある。(事務局)
- ・補助制度は個人向けのものでなくてもよい。市営住宅に太陽光など再生エネルギー設備を導入するなど。市民出資で小中学校へ太陽光発電を導入するなども考えられる。  
⇒先行自治体の状況を確認する。環境に対する施策以外のことも考える。見直し案も修正を考えたい。(事務局)
- ・SDGsに書かれていることは、今後行うことの可視化と社会で取り組むことのメインになることである。
- ・アンケート結果を活かして、アクションプランの修正を進めてほしい。

## 2. 環境ブック特集について

- ・事務局より資料3で環境ブック特集のテーマ候補についての説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

### ○委員意見

- ・環境ブックを配布するだけで終わりにしない。中学生の総合的な学習の時間などで、調べ学習の一環として自分で勉強できるような内容にできればよい。
- ・小中学生では、知識を得るだけでは行動につながらない。自らが調べることが大事。
- ・市民のできることを考えてもらえるテーマが良い。
- ・知識だけではなく、実感できるような工夫が必要である。
- ・「プラスチック海洋汚染」をテーマとする案を推す。使用しているものが海に出ていくルートは、解明できていない。世界の状況についても触れる。
- ・プラスチックのテーマは、新清掃工場のアピールにもなる。プラスチックを減らすことの重要性がわかるようにしないといけない。ゴミとして出されたプラスチックを処理する工程を見学すれば、アンケート結果にある若い人たちの環境保全に積極的でないという回答が恥ずかしいこととわかるはずである。
- ・リユース、リデュースが重要であること、リサイクルは3番目の手段という位置づけを提示した方がよい。
- ・海外の国といかにプラスチックなど環境問題について認識が違うかを記載してもらいたい。ヨーロッパで当たり前の取組が日本では知られていない。  
⇒いただいた意見から「プラスチック海洋汚染」をテーマに特集内容を検討したい。次回の審議会では内容の概要を提示したい。

以上